

・たいへん厳しい寒さでお体を弱めている兄弟姉妹が大勢いらっしやいます。お互いが支えられるように、兄弟姉妹を覚えて祈りましょう。

・今週末(2/4)は、ボランティアグループしおんによる無料食品配布がシオン館で行われます。支援を必要としている方々に必要な物資が届くようにお祈りください。また、困っている方々が社会福祉協議会などの支援機関に繋がる機会ともなるようにお祈りください。

・蒲田駅東口にあるネパール人教会をご存じですか？

先日、荻野牧師はキリスト教支援団体クラッシュジャパンの理事長を務める永井牧師と面会した際に、蒲田駅東口にあるネパール人教会のキラン牧師(42歳)を紹介されました。以前から教会の存在は聞いており、思いがけず交わりの機会をいただきました。毎週100名から200名のネパール人クリスチャンが集まっています、キラン牧師も非常に熱い心を持った方でした。蒲田地域には外国人が大勢いらっしやいます。在留外国人とその方々の教会のためにも祈りましょう。

【新型コロナウイルス対応】

《礼拝出席は事前申込にご協力を》  
ご出席者の日ごろのご協力を感謝します。今後も事前の申込をお願い致します。

《礼拝堂での出席を希望される方へ》  
※体調がすぐれない、倦怠感があるなどの際は出席を控えてください。

※換気を行っています。コートの着用など防寒には各自でご注意ください。  
膝掛けの貸し出しもご利用ください。

第二年の第一の月、その月の一日に幕屋は設営された。

そのとき、雲が会見の天幕をおおい、主の栄光が幕屋に満ちた。

出エジプト記 40 章 17 節

イスラエルの子らは、旅路にある間、いつも雲が幕屋から上ったときに旅立った。

出エジプト記 40 章 34 節

出エジプト記 40 章 36 節

出エジプト記の最後に記されているのは幕屋の完成です。かつて主は言いました。「彼らにわたしのための聖所を造らせよ。そうすれば、わたしは彼らのただ中に住む」(二五八)。エジプトの奴隷生活から救われた民は荒野を旅していました。そんな彼らの中心に神の栄光と臨在を象徴する幕屋が据えられました。神の民イスラエルの生活は次のステージに移行します。

幕屋は「第二年の第一の月、その一日」(17)に設営されました。日本で言えば元日です。偶然にこの日が選ばれたのでしょうか？そうではないでしょう。一年の始まりの日に礼拝の場である幕屋が設営されたという事は、神の民の共同体は、すべてが主への礼拝からスタートすることを意味しています。

主の栄光は幕屋に満ちました(34)。主がまさにイスラエルのただ中に住まわれたということ。神の民は、何をもって神の民とされるのでしょうか？それは主が共にあること(三三16)。

主は、ご自身の栄光を礼拝の場に現わします。主を主として崇め礼拝するところに主はご自身を十二分に現わされるということです。そこに主がおられるのです。「雲」(34、38)とは主の臨在の象徴です。雲は幕屋に現れました。イスラエルの人々は雲を見て進み、また立ち止まりました。礼拝を大切にする人々に主の導きが明確に示されます。

すべては礼拝から始まるのです。(泰)

**1月29日 聖日礼拝**

第1礼拝 9時 穂谷牧師 荻野し兄  
第2礼拝 11時 荻野牧師 美名子姉

招詞 イザヤ書60章2節

会衆賛美 聖歌134

会衆賛美 イエスの血潮で(2回)

主の祈り

交読 詩篇48篇1〜11節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 出エジプト記

説教 40章16〜38節

会衆賛美 聖歌40

献金 聖歌376

祝詞 荻野泰弘牧師

報告

後奏 感謝祈禱

**【招詞(主の招きのことば)】**

イザヤ書60章2節

「見よ、闇が地をおおっている。暗黒が諸国の民を。しかし、あなたの上には主が輝き、主の栄光があなたの上に現れる。」アーメン

**【本日の予定】**

■礼拝映像ネット配信 9時から

■第1礼拝後、第2礼拝後

会堂清掃

■小学科ホザナ礼拝 3階 10時半

お話し 林修養生

■バイブルカフェ 12時15分〜

■バイブルカフェ打ち合わせ 3階 13時半〜

**【本日の礼拝奉仕者】**

■第1礼拝

礼拝祈禱 林修養生

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 林修養生

配信

■第2礼拝

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 司会者

会場

受付

**【次週礼拝説教】** 荻野牧師

テモテへの手紙第二

2章1〜10節

「キリスト・イエスにある恵みによって」

今年も一ヶ月が過ぎました。標語聖句を改めて味わいましょう

**【お知らせ】**

**■教会総会(予算)について**

コロナ禍に入ってから予算と決算のいずれも教会総会は対面で行うことができていません。

今年はどうにか対面での実施を行いたいと願います。そこで、例年2月最終聖日に開催している教会総会(予算)については、3月26日に実施致します。感染拡大が現在よりは落ち着くだろうと期待しています。状況が改善して対面で教会総会を実施できるようにお祈りください。詳細は後日ご案内致します。

**■12月度教会会計報告について**

次週2月5日に配布します。以前に週報でもお知らせしたとおり、事情で教会会計実務に遅れが生じています。どうぞご理解ください。ご質問などある場合は牧師までお尋ねください。

**■特別企画**

**「池上梅園とクリシタン墓地散策」**

日程 2月26日(日)午後  
(詳しい時間は調整中です)

大田区の名所の一つに数えられる池上梅園。教会ではミモザ会を中心に梅の見頃を計って梅園散策を祈禱会後に行っていました。コロナ禍で行えずにいましたが、今年は日曜日午後の特別企画として復活です！池上梅園は丘陵傾斜を利用した庭園で、園内には三十種、紅白約370本の梅が植えられています。

また、隣接する池上本門寺には戦後のスーパースター力道山をはじめ多くの著名人・歴史人のお墓があります。そしてその一角に、江戸時代の隠れクリシタンのお墓も存在します。春の訪れを待ちわびる季節。一足早く兄弟姉妹と外へ出掛けましょう。

※詳細は後日が案内します。

**■礼拝説教について(2月、3月)**

兄弟姉妹と辿った出エジプト記も今週が最終回です。十分に扱えなかったなあと自分の力量不足を痛感し、一方では、イスラエルの民さながらに主の導きと助けを感じる気づきと励ましをたくさんいただいたことを感謝しています。いずれまた、さらに学んだのちに扱わせていただきたいと考えています。さて、2月と3月は次のように計画しています。

2月最終聖日以降は受難節(レント)。イエス様の十字架と復活に思いを向ける季節を迎えます。荻野牧師が担当の時には十字架に関連した箇所を扱う予定です。

次週2月第一聖日は、新年を迎えてからちょうど一ヶ月ということで今年の教団標語を改めて扱います。新年度に向かう心備えにもなればと願っています。

2月19日には田中英先生に説教をしていただきます。